



発行・カトリック水巻教会  
編集・広報委員会  
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3  
〒807-0025  
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354  
第359号

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

## 復活したキリストと聖霊の不思議な働き マヘル神父

復活祭おめでとうございます。新たにイエス様があなたの心に復活なさったでしょう。

どうせ何も変わりはない、そう考えてしまう時には思い出してください。イエスキリストは罪と死に打ち勝ち、力に満ちておられるのです。イエスキリストはまさしく生きておられます。「キリストが復活しなかったなら、私達の宣教は虚しい」(1コリント15・14)になってしまうのです。福音は説教の為に出かけた最後の弟子たちの様子を伝えています。「主は彼らと共に働き、彼らの語る言葉が真実であることをお示しになった」

現代にも同じことが起こります。私達はそれを見出し、それを生きるように招かれています。キリストの復活と栄光は、私達の栄光の深遠なる源です。キリストから委ねられた使命を果たすことにあたって、キリストからの助けが欠ける事はありません。イエスの復活は、過去の出来事ではありません。それは、世界を貫いた命の力を帯びています。すべてが死んだかのように思われるところにはどこでも、復活は再び芽生えるのです。この力を留めることが出来ません。価値は、絶えず新たな姿で再生されるものです。

事実、人類は、取り返しのつかないような状況から、何度も何度もよみがえってきました。これこそ復活の力であり、すべての福音

宣教者はその力の担い手なのです。計り知れない信頼と揺るぎない希望で私達を満たす力をもって語る方は、復活したイエスです。

「私達は万物を新しくする(黙示21・5)」

この約束に信頼をもって、マリアと共に歩みましょう。そして祈りましょう。

『母なるおとめマリアよ、あなたは聖霊に促され、命の言葉をその謙虚な信仰の奥底に受け入れ、永遠なる方にご自分を完全に委ねられました。私達も「はい」と言えるように助けてください。急を要し、かつてないほど切迫しています。イエスの良い知らせを響かせることが。』

あなたはキリストの現在に満たされて、洗者ヨハネに喜びをもたらしました。その母の胎内で踊らされるために。あなたは喜びに心を弾ませ、主の不思議な業を讃えて歌いました。あなたは十字架のもとに立っておられました。揺るぎない信仰を持って。そしてあなたは復活の明るい慰めを得、聖霊を待ち望みながら弟子たちを集めました。福音宣教する教会が生まれるように。

西山助祭黙想会	2・3面
小教区委員会報告・幼稚園	4面
青田神学生挨拶・写真	5面
ペルーからの便り	6面
ホームレス支援・教会学校	7面
お知らせ・短歌	8面

私達に今、復活したのものとしての新しい熱意を与えて下さい。死に打ち勝つ命の福音を全ての人にもたらすために。私達に新たな道を探す真の勇気を与えて下さい。消える事のない美の恵みをすべての人に届けるために。

耳を傾け、思い巡らすおとめ、愛の母、永遠に続く婚姻の宴の花嫁よ、あなたは教会の最高に純粋な像でおられます。どうか教会の為に執り成して下さい。教会が決して自己に閉じこもることなく、歩みを止めることのないように。御国の建設へと向かう熱い思いをもって。

新しい福音宣教の星よ、証をもって輝くことが出来るように助けてください。交わり、奉仕、熱く惜しみない信仰、正義、貧しい者への愛、その証で、福音の喜びを地の果てにまで届けるために。

そして誰も、その光の届かない隅にいることのないように。命をもたらす福音の母よ、小さき者の喜びの泉よ、私達の為に祈って下さい。アーメン、アレルヤ。』

(教皇フラシスコ・使徒的勧告・「福音の喜び」より)



## 西山助祭 四旬節黙想会記録

3月12日

四旬節とは何か？

・・・自分の信仰を思い起こす、確認する場である。

クリスチャンとは何か？

・・・キリストに属する者、それがクリスチャンである。

教会本来の意味は、神の民である。私達の使命は、エクレジア、宣教である。

神の国とその到来を宣教することが、私達キリスト者の生き方である。

神の道理とこの世の道理は異なる。

デリオン銀貨のたとえば、その例である。

私達は、クリスチャンとして、宣教の使命があり、言葉、行動よりキリスト者としての生き方を示していくことで、大切であると感じました。 <宗 恵さん記録>

四旬節は信仰の原風景は何か。四旬節中、洗礼志願者が居る。洗礼を思い起こす信仰を持って下さい、と呼びかけていく。洗礼志願者の決意をとおして、原風景に返ってゆく。

教会とは何か？・・・教会は位階性ではない。洗礼と堅信によって、キリストに属するものとなった。再度、教会とは何か？教える会ではない。「私達は神の民」と歌うとおり。ラテン語ではエク(=そこへ)レジア(=呼ぶ)。これは日本語で宣教。教皇が批判「今の教会は内に閉じこもるボロボロになった姿」。水巻ならば、水巻の地に住む人々を招き入れる。地域社会の人を呼びかける。これが大切。呼びかけるという事は何か、それは、言葉と印、そこで

生活。これが水巻教会の一人一人に課されていること。教会は建物とは違う。

イエスは、大祭司の詮議で十字架に掛けられた。それでは終わりではない、3日目に復活した。このことについて、聖書の中で、イエスは自分の受難と死について、3回触れている。

アブラハムも信仰の人ではあった。しかし立派な人ではあったが、完成された人ではなかった。神は「あなたに子孫を星の様に与えよう」と言った。この寄留者として、約束の地を与えましょう。信仰、この宗教、それは何でしょう？永続的。靈的に深めること。信仰の人になりますように。

靈的に深めて行く。パウロは信仰を靈的に深めてゆく。「信仰の人になりますように。」これを突き詰めて考えると、「永遠の命の糧、あなたを置いて、誰のところに行きましょう」これが私達の信仰。イエスが私達に信仰者にどういう語り方をしたか。キリストは、神の国について述べ伝えられた。キリストは言葉と印で、伝えた。キリストによってもたらされた。

聖書の中で、キリストは教会への思いをどう表現しているのか？次の箇所であらわされている。

- ペトロの信仰宣言・・・「あなたは神の子、イエスキリスト」と語った。
- 最後の晩餐の洗足式・・・「互いに愛し合いなさい。」
- 派遣・・・「全世界に行って福音を述べ伝えよ」「自分の十字架を取って私に従いなさい。」

回心(メタノイア)への呼びかけ:(メタ=出発点、ノイア=新たに愛する)

聖書に書かれている神の憐みに関する記事:善きサマリア人、放蕩息子、最後の晩餐、十字架の死。教会が教会を見直す

<「信徒の召命と使命」の招き>

マタイ20章 ぶどう園の農夫(1日で1デナリオンを支給が通例)この世の思いと、キリストの思いは、異なる。

教会の3要素 ①信仰、②共同体、③社会と共に歩む。(第2バチカン公会議から起こった)この3つの要素から1つでも欠ければ、人は教会から離れてしまう。

アプローチの方法(養成、組織、実行) 「組織ありき」ではない。生涯養成が必要。神からもらった賜物を、皆が出し合うことで共同体が成り立つ。

<聖地におけるブドウの木とワザの神秘>

私を離れれば、あなた方は何もできない。(ブドウの枝につながっているブドウが、神につながっている私達に例えられる)

旧約=聖なる民、祭司の王国、 新約=教会における祭司職、王職、預言職。

<俵靖子さん、常定基子、三谷尚によるメモを元に構成。>

# 委員会等報告

2017年4月分

## 4月度小教区委員会 4月2日

### 1. 行事予定

- ・4月23日(日) 巡礼旅行(上五島)説明会
- ・4月29日(土) 役員会 10:00~12:00  
議案作成
- ・4月30日(日) 北九州地区聖書講座  
(小倉) 14:00~
- ・5月3日(水)~5日(金) 上五島巡礼旅行
- ・5月7日(日)小教区委員会  
地区集会報告 議案確認

### 2. 議事

#### (1) 緊急連絡先届け(任意提出)

ミサ後、スロープで倒れた方がいました。その時、家族の方と連絡が取れないという事態が発生しました。このような事がない

ように、単身居住者向けに「連絡先届け出書類」を作成した。地区集会で呼びかけをお願いします。

#### (2) 信徒総会資料原案

- ・行事予定、代表者氏名及び提出議案に関し、記載内容の過不足、訂正事項を確認した。
- ・司祭館の移設について  
議案はあるが方向性は定まっていない。信徒総会までに地区集会等で意見収集をお願いします。

### 3. 会計監査について

会計監査は松尾隆氏、吉岡秀美氏、2名にお願いする事とした。



## 水巻聖母幼稚園から5月のお知らせ

いつも水巻聖母幼稚園へのお祈り・ご協力ありがとうございます。

5月は聖母の月。園児もマリア様のお祝いを皆で心合わせていたします。これからもお祈りよろしくお願いいたします。

☆「みんななかよく」 日時：5月25日(木) 10時30分~ 幼稚園ホール

未就園児の皆さん幼稚園に遊びにきてください。お待ちしております。

☆「北富晴美先生の親子体操！」 日時：6月8日(木) 10時~ 幼稚園ホール

モンテッソーリ教育の運動・体育を親子で楽しみませんか？

幼稚園に小さなお子さまも遊びにきてください！ 園長 Sr.松川明子 職員一同

4月9日(日)豊田神父を招き、水巻教会で初ミサが行われました。その時の写真を5面下(右隣)に掲載しています。



## 青田神学生 自己紹介



水巻教会の皆さま、こんにちは。長崎教区、浦上教会出身の神学科2年生、ヨセフ青田と申します。4月からの一年間、宣教司牧実習生として水巻教会でお世話になります。ご迷惑をお掛けする「からしだね」になることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

司祭になろうと志し、神学院に入学するに至ったのは、様々な要素が組み合わさった結果です。神学生になると「召命のきっかけ」を度々尋ねられますが、その度に返事に困ります。あまりにも「きっかけ」が多すぎるからです。直接的には、当時の主任司祭からの強力なお誘いがあり、司教さまからも推薦をいただき、四十路中盤だったわたしが恥ずかしくも神学院入学を決心したからですが、そこ至る「きっかけ」はジグソーパズルのひとつひとつピースのような感じがして、一つも欠くことができません。「体は、一つの部分ではなく、多くの部分から成っています・・・あなたがたはキリストの体であり、また、一人一人はその部分です。」(1コリント12章)という聖書の言葉が思い出されます。教会共同体を説明する際によく引用される聖書の箇所ですが、わたし自身の召命やこれからの歩みにも当てはまるような気がします。

今年3月16日に、神さまの支えと、多くの方々の霊的物的なご支援のもと、朗読奉仕者選任のお恵みを頂くことが出来ました。朗読奉仕者は「神の言葉を告げる人」とされます。主に「ことばの典礼」での奉仕者やカテキスタとしての役割を果たし、教会の宣教に協力し働くことがその任務です。しかしながら、自分自身、まだまだ知識も経験も不足しており、わたしだけの力ではその任務を果たしきれません。

教会は、キリストの光を掲げる神の民の集まりです。「わたしに従う者は、決して闇の中を歩むことがない」(ヨハネ8:12)と主は仰います。まだまだ未熟なわたしが、水巻教会に派遣された「一信徒」としての使命をよりよく果たし、これからも司祭召命の道を歩んでいくことができるように、そのために絶えずキリストの光で心を照されるよう、お祈りいただければ幸いです。

長崎教区神学科二年・ヨセフ青田



豊田神父の初ミサ(左) 祝賀会(右)



## 南米ペルーからのお便りです



水巻教会レプトン会の皆さまへ

レプトン会の皆さまの頑張りに励まされて、こちらでの宣教を続けることができます。本当に、いつも、継続的なご支援をありがとうございます

こちらペルーの沿岸部は、今季、エルニーニョの影響による被害がおおきく、各地で大雨が続き、アンデスから流れる25の主要河川の決壊・氾濫による洪水、土砂災害が頻発し、街を襲っています。

私たちの修道院がある地域でも、3月半ばから6日間ほど断水になり、みなで知恵を出し合って節水をしながら、建物の貯水タンクのみに頼った生活を送りました。今は断水も復旧し、私たちの地域は日常を取り戻しました。

暦の上で秋を迎えたところから気候が落ち着き始めていますが、いまだ大雨・洪水による被害が続いている地域があり、ペルー全体が一丸となって、被災地の復興と被災者支援に尽力しており、私たちも祈りと物資協力によって、心を合わせています。

前回、エルニーニョの影響を強く受けた1998年の年間の被害よりも、今年に入ってこの3か月間に受けた被害は、すでに6%上回っているそうです。被災者は13万3千人以上、89万5千人以上が何らかの影響を受けています。1998年には、1年間にわたってエルニーニョの影響を受けたそうです。

どうか、これ以上被害が拡大しませんように、被災地が一日も早く復興できますように、お祈りください。

レプトン会の皆様の上に、神様の豊かな祝福をいのりつつ。

2017年4月4日

イエスのカリタス修道女会 リマの聖女ローザ準管区

シスターマリア・ステッラ小林(2014年夏、ペルーの現状報告をされた方です)



## ペルーからの現状報告があります

2017年5月14日(日)ミサの後

イエスのカリタス修道女会 リマの聖女ローザ準管区 ペルー共同体 シスターケリドニア 鳥瀬チエ子アさんが特別休暇で一時帰国、その機会に水巻教会を訪問されます。

1年4カ月ぶりの現地報告集会です、皆さまの参加をお待ちしています。

世話係：ペルーの貧しい子どもを支えるレプトン会



## ホームレス支援炊き出し

責任者 橋本富美



3月24日11時より水巻教会13人のメンバーにて100食のお弁当を作り小倉支援センターまで届けました。何時も惣菜を作って下さる内海蒲鉾店・レッドキャベツの肉屋さんの協力で100食の完成品を今度から大塚さんの助人にも恵まれ、届けることが出来ました。2万円の材料費と米10升を頂き、残5772円を抱撲に献金しました。



ホームレス支援機構に関連して

主催：NPO法人抱相樸



「地域共生社会シンポジウム」が4月15日(土)に行われました。

**基調講演** 地域共生社会の実現に向けて 講師 鈴木俊彦氏(厚生労働省、年金局長)  
**鼎談**(ていだん):「地域共生社会」を考える。(鈴木俊彦、松本照仁氏(北九州市副市長)、奥田知志氏(NPO法人抱樸理事長))

(内容) 少子高齢化など地域社会の環境変化により多様化、複雑化している福祉ニーズに対応するため、厚生労働省は2014年9月に、「新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン」を取りまとめました。以降、国全体の取り組みとして、「日本一億総活躍プラン」「『我が事・丸ごと』地域共生社会」が発表され、地域を主体に官民共同で地域住民をどう支えるのか、考える場が持たれました。

## 教会学校のページ

3月12日

出席者 山田 蓮さん

冊子「こじか」の「神父になった子ども」古郡神父様の最終回のお話を読みました。神父様になって日が浅い古郡神父様が、神父になる人は特別な人ではなく、ふつうの人が、教会という神さまを信じる人の集まりの中で育てられ、やがて神さまに生かされていることを実感し、恩返しをするように。神父として生きようと望んでいることを述べていました。

今年、最後の教会学校でした。山田蓮くんの侍者としての活躍と成長に、スタッフみな、神さまの恵みを感じています。一年間、ほとんど休まず参加してくれた蓮くん、ありがとうございました。



★巡礼旅行★

日時：5月3日(水)～5日(金)

場所：長崎県五島(上五島)

★特別献金★

4月9日(日) カテドラル献金  
36,450円

★特別寄付★

次の方よりご寄付をいただきました。

折尾地区の西山美砂子様

海老津地区の岡部成敏様

ありがとうございました。

★納骨堂利用者集会★

日時：5月21日(日) ミサ後

納骨堂利用者集会を開催します。関係のある方はお集まりください。

納骨堂委員 大原

人-ひと

【転入】 ようこそ、水巻へ

◇松岡 フサエさん・宏さん

黒崎教会から 遠賀地区へ

【帰天】 安らかに！

3月21日

◇西山 寿美枝さん(折尾地区)

【洗礼式】 おめでとう！

4月15日(土)

◇松永 貴美子さん(海老津地区)

洗礼名 アンナ

「からしだね」に沢山の短歌をくださった西山さんが帰天されました。これからしばらく短歌を記載します。季節が合わないものもありますが、「こ」承ください。

折尾地区 西山寿美枝さんの短歌

真白になりたる髪は雨にぬれ

梳けば雫の肩につめたし

延々と流れる川の浮き草は

異界の中に花見ることし

ひびき合う声の如くに唸る風

電線激しく上下に揺るる

この川も牛蛙いて夜を徹し

恫喝の声間に重ねる

路の臺を味噌でいためしお土産に

心のこもりて味を分け合う